

第7回町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会 議事録(要旨)

○日時

2025 年 6 月 27 日(金) 17 時 00 分～19 時 00 分

○場所

町田市庁舎 3 階 3-1 会議室

○出席者

委 員：磯崎委員、前田委員、神山委員、長谷川委員、渡代委員、大倉委員、實方委員、伊藤委員、八木委員

事務局：横山市民部長、中坪市民総務課長、磯崎市民協働推進課担当課長、是安市民課長、磯部市民課担当課長
小山忠生市民センター長、田中鶴川市民センター長、泉南市民センター長
黒澤なるせ駅前市民センター長、田中小山市民センター長
市民総務課戸上、市民総務課佐藤

○次第

- 1 開会
- 2 委員等の紹介
- 3 議事 町田市市民センター等の未来ビジョン 2024 年度の実施結果と 2025 年度の実施内容について
- 4 事務局報告
- 5 閉会

○資料

- 資料 1「町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会設置要綱」
資料 2「町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会委員名簿」
資料 3「町田市市民センター等の未来ビジョン各施策の取り組みについて」
資料 4「町田市市民センター等の未来ビジョンの進捗状況・推移について(報告)」

1 開会

市民部長から開会の挨拶

2 委員等の紹介

事務局から委員の紹介

3 議事

町田市市民センター等の未来ビジョン 2024 年度の実施結果と 2025 年度の実施内容について説明

(質疑・意見交換)

○施策の柱1「サービス・利便性」、施策の柱2「ソフト・魅力」について

■委員

マイナンバーカードの保有枚数率について、79.2%で目標達成としているが、さらに引き上げる目標があるのか。

申請したカードを受け取りに来ない方へ勧奨通知を発送したそうだが、受け取り実績を聞きたい。

地域センターまつりの支援について、キッチンカーの誘致をしたそうだが、誘致の方法と地元事業者の優先をしているかを聞きたい。

■事務局

マイナンバーカードの普及促進に努めた結果、79.2%まで上げることができ、都内では3位の成績である。今後は、80%程度を目指していきたい。切替（更新）のタイミングで失効してしまう方がいるので、フォロー体制を充実させていきたい。

勧奨通知の実績は、数字としてはないが、通知後は多数の来庁があり効果はあると考えている。

キッチンカーの誘致について、鶴川市民センターでは、町田市のキッチンカー協会に依頼している。地元事業者、さらに鶴川地域の事業者に参加してもらえた。

■委員

勧奨通知は効果があるという回答なので、把握できるのであれば、今後、数値化できるように検討してもらいたい。

■委員長

今の委員の発言は、ご意見として受け止めさせていただく。

■委員

マイナンバーカードを受け取りに来ない人への対応を強化してほしい。

これからも高齢者施設に出向いて申請支援をしていくのか知りたい。

■事務局

高齢者施設等へは、これからも出向いていきたいが、相手方のあることである。実施や時期はいつになるか現時点ではお伝えできない。

受け取りに来ない人への対応として、勧奨通知の取り組みは、続けていきたい。

■委員

センターまつりについて、賑わいを出すために飲食や物販を出店するが、地域センターは営利を目的とした利用は条例で禁止されている。参加事業者等の選定基準はどのようにしているか。

■事務局

センターまつりは、利用団体と地元町内会自治会などにより実行委員会が形成され、開催に向けて話し合いを重ね、出店団体等を決定している。

■委員

キャッシュレス決済の導入に向けて、2024 年度取り組み結果でメリット、デメリットを整理したとある。一方で 2025 年度取り組み内容で検討になっていて、ずっと検討しているように見える。今後どのように進めるのか、また、メリット・デメリットについても知りたい。

■事務局

キャッシュレス決済については、検討の段階である。情報収集し、他自治体もまだ導入している例は少ない。デメリットとしては、施設利用をキャンセルした際の返金対応などが上げられる。

■委員

キャッシュレス決済は、オンラインで施設予約時に支払うのと、現地で借りるときに支払う 2 パターンあると思うがどちらを想定しているか。

■事務局

どちらか一方で決まっているわけではない。施設予約のオンライン申請時に、同時にキャッシュレス決済を行うパターンでは、施設利用をキャンセルした時の返金対応が課題となってくる。一方で、現地の券売機にて現金に加えてキャッシュレスで支払うパターンは、券売機の導入コストが課題になっている。双方メリット・デメリットがあり、今後検討いく。

■委員

マイナンバーカードの保有枚数率は 79.2%で、都内 3 位は、とても頑張っていると思う。一方で、マイナンバーカードを持たなければいけない絶対的な理由がないため、今後は 100%に持っていくことが難しいと考える。

マイナンバーカードには、多くの情報が入っているので持ち歩いていない。自動車免許も返上したので身元を証明するものもないので不便である。

■事務局

マイナンバーカードの安全性については、仮に紛失しても、第三者が容易になりすますことはできません。個人一人ひとりの考え方や状況もあるので、一概に保有枚数率を上げていくのは難しいことだが、持っている利点として証明書のコンビニ交付にメリットがあると考えている。交付手数料も安くなる。今後は、市役所に出向かずに、ご自宅や職場から手続きができることが増えると思う。

■委員

今まで、協会けんぽから送られてきていた「健康保険高齢受給者証」があるが、マイナンバー

カードに紐づけられて、申請しないと送ってこなくなった。マイナンバーカードを持つ利点として紹介したい。

○施策の柱3「地域・コミュニティ」、施策の柱4「コスト・民間協働」について

■委員

地域活動の案内・マッチングについて、2024年度のマッチングの実績を知りたい。

新たな管理手法の導入について、2024年度中に一部施設を対象として業務の集約をしたそうだがどのように事業者選定しているのか、業務は効率化しているのか。

■事務局

マッチングの実績について、地域の方ができること、してほしいことをマッチングボードに掲載をして、地区社協の仲介で繋げている。2024年度は52人の方の依頼があった。すべてのマッチングにはつながっているわけではないが、地域の方が仲介していることで安心感があると聞いている。

新たな管理手法については、個々の施設ごとにそれぞれ1件ずつ、市と業者で随意契約を行ってきたものを、類似する業務についてはいくつかの施設でまとめて、例えば4つの施設で1件の契約とし、競争入札として業者を選定している。市と業者ともに業務の工数は減っていると同時に、競争性を生むことにより金額も減少している。

■委員

マッチングの説明では、市民センターの職員が直接的な実務がないということで良いか。
施設の契約は単年度契約か。

■事務局

市の職員が直接繋げているわけではない。一緒に考えていくことをしている。
施設の契約は単年度契約のものも、複数年契約の案件もある。

■委員

相談体制の充実について、鶴川市民センターで玄関正面ロビーに相談窓口を設置して相談に備えたところがあるが、相談件数は。

情報発信について、色々な媒体からの発信の記載があるが、地域の情報という視点で見た場合に、何が一番分かりやすいかなど、市民が認識できるようになっているのか。

■事務局

鶴川市民センターの相談件数は52件。

忠生市民センターについては、ホームページは分かりやすさを重視している。高齢の方はホームページなどを見ないかもしれないので、市民センターまつりのようなイベント情報は、ポスターやチラシなどを町内会に掲載してもらっている。

■委員

地域の方が、センターまつりの情報等を知ったときに、どの媒体を見れば詳しく正確な情報を入手できるかなど、市民の方に分かってもらえているか。

■事務局

正確な情報は、ホームページである。センターまつり等は、町内会等の会議等でも周知していただいている。

また、情報の発信について、広報まちだに掲載し、詳細はホームページを確認してもらう。そして、センターまつりはプレスリリースをすることで地域の情報紙にも掲載してもらえるようにしている。

■委員

相談体制の充実について、214 件の相談があったそうだが、どのような相談内容であったか。また、どのようなスキルを持った職員を配置・養成していくのか

■事務局

地域市民相談室の職員は、市民協働推進課の職員である。配置の職員は部長級の経験者で多くのスキルを有している。相談内容は、ごみの分別や税金関連・近隣トラブルなどがあり、関連部署や弁護士相談につながっている。

4 事務局報告

町田市市民センター等の未来ビジョンの進捗状況・推移について報告

(質疑・意見交換)

■委員

集会施設の利用登録者数について、ここでいう団体とはどのような団体であるか。

■事務局

5 名以上で構成され、市内に在住、在勤、在学するなどしている団体である。

■委員

今回報告のあった利用率等の推移について、結果的に策定時からあまり変わっていない状況に見える。この推移をみて町田市としてどう思うのか。

■事務局

新型コロナウイルス感染症の影響で団体の活動が縮減するとともに、地域コミュニティの希薄化を懸念していたが、現状、センターまつりも順次再開されており、施設利用率の推移からも活動が戻ってきているように思えて安心している。市民センター等が、地域の様々な団体が活動す

る地域の拠点としてさらに利用され、地域の賑わいや地域課題の解決につながることを期待している。

■委員

今後、利用料金が上がることはあるか。

■事務局

現時点で料金改定の予定はありません。

■委員

ホームページを見やすくしてほしい。階層が多く探しにくかったり、文字が小さいなどあるの
で見やすさに取り組んでほしい。

■委員長

事務局は意見・要望として受け取ってほしい。

5 閉会

事務局からの連絡事項

以上